

ご利用規則

快適なご宿泊をいただきますように、宿泊約款第10条の定めにある通り、下記の規則をお守り下さいますようお願い致します。

この規則をお守りいただけないときは、宿泊約款第7条により、ご宿泊契約及びこれに関する契約を解除させていただく場合もございます。

記

1. 客室やロビー等を事務所、営業所がわりに使用されることは堅くお断りいたします。
2. 館内への許可のないご飲食物の持込み及び外部からの出前はお断りいたします。
3. ふとんの中など、火災の原因となりやすい場所で喫煙をなさらないで下さい。
4. 外出時の施錠、在室中のドアガードをご確認下さい。
5. 部屋の鍵は、ご出発の際に必ずフロントにご返却下さい。
6. 部屋にご到着されましたら、非常口の位置、非難経路のご確認をお願いいたします。
7. 来訪者があった時はドアガードを利用してご確認下さい。不審者と思われる場合はフロントにご連絡下さい。
8. 宿泊登録者以外のご宿泊は堅くお断りいたします。
9. みだりに外来客を客室に招き、諸設備及び諸物品を使用させたりなさらないで下さい。特に午後10時以降、客室にお客様をお招きすることはご遠慮下さい。
10. 館内及び各室内の備品を所定の場所からみだりに移動したり、許可なく変更、加工しないで下さい。
11. 館内に下記のものをお持ち込みにならないで下さい。
 - イ. 愛玩の動物、鳥類等（ただし、盲導犬は除く）
 - ロ. 悪臭を発するもの
 - ハ. 常識的な量を超える物品
 - ニ. 許可証のない鉄砲、刀剣類等
 - ホ. 発火又は引火しやすい火薬、揮発油類等
12. 館内及び客室内で高声、放歌及び喧騒な行為、その他、他人に嫌悪感を与えたり迷惑をおよぼしたり、又、賭博や公序良俗に反する行為をなさらないで下さい。
13. 宿泊客が心身耗弱、薬品等による自己喪失など宿泊しようとする者の安全確保が困難であったり、他の宿泊客に著しく迷惑を及ぼすおそれがあると認められるときはご利用をお断りします。
14. 未成年者のご宿泊は、保護者の許可がない限りお断りいたします。
15. 館内で許可なく他のお客様に広告物の配布や物品の販売等なさらないで下さい。
16. 廊下やロビー等に所持品を放置なさらないで下さい。
17. 客室内に放置された貴重品が紛失した場合、当ホテルでは責任を負いかねますので、ご了承ください。フロントにセーフティボックスがございますので、ご利用ください。
18. 外観をそこなうような物品を窓にお掛けにならないで下さい。
19. ご到着時にお預かり金を申し受けることがございますので、予めご了承下さい。
20. ご滞在中、フロント会計から勘定書の提示がございましたら、その都度お支払下さい。
21. 館内のラウンジなどで、ご署名によってご利用になる場合はご面倒でも、客室の鍵を係員にご提示下さいませ。
22. 小切手によるお支払い及び両替はお断り致します。
23. お預りの品物や、お忘れ物の保管は特に指定のない限り、ご出発後1ヶ月までとさせていただきます。
24. 暴力団及び暴力団員、並びに公共の秩序に反するおそれのある場合について
 - (1)「暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律」（平成4年3月1日施行）による指定暴力団及び指定暴力団員等の当旅館利用はご遠慮いただきます。（ご予約後、あるいはご利用中にその事実が判明した場合には、その時点でご利用をお断り致します。）
 - (2)反社会的団体及び反社会的団体員（暴力団及び過激行動団体など並びにその構成員）の当旅館利用はご遠慮いただきます。（ご予約後、あるいはご利用中にその事実が判明した場合には、その時点でご利用をお断り致します。）
 - (3)暴力、脅迫、恐喝、威圧的な不当要求及びこれに類する行為が認められる場合、直ちに当旅館利用はご遠慮いただきます。又、かつて、同様な行為をされた方についてもご遠慮いただきます。



心づくし 味づくし

あおさ 橋風苑

宿泊約款

(適用範囲)

- 第1条 当館が宿泊客との間で締結する宿泊契約及びこれに関連する契約は、この約款の定めるところによるものとし、この約款に定めのない事項については、法令又は一般に確立された慣習によるものとし、
- 2 当館が、法令及び慣習に反しない範囲で特約に応じたときは、前項の規定にかかわらず、その特約が優先するものとし、

(宿泊契約の申込み)

- 第2条 当館に宿泊契約の申込みをしようとする者は、次の事項を当館に申し出てください。
- (1) 宿泊者名
 - (2) 宿泊日及び到着予定時刻
 - (3) 宿泊料金（原則として別表第1の基本宿泊料による。）
 - (4) その他当館が必要と認める事項
- 2 宿泊客が、宿泊中に前項第(2)号の宿泊日を超えて宿泊の継続を申し入れた場合、当館は、その申し出がなされた時点で新たな宿泊契約の申込みがあったものとして処理します。

(宿泊契約の成立等)

- 第3条 宿泊契約は、当館が前条の申込みを承諾したときに成立するものとし、ただし、当館が承諾をしなかったことを証明したときは、この限りではありません。
- 2 前項の規定により宿泊契約が成立したときは、宿泊期間（3日を超えるときは3日間）の基本宿泊料を限度として当館が定める申込金を、当館が指定する日までに、お支払いいただきます。
- 3 申込金は、まず、宿泊客が最終的に支払うべき宿泊料金に充当し、第6条及び第18条の規定を適用する事態が生じたときは、違約金に次いで賠償金の順序で充当し、残額があれば、第12条の規定による料金の支払いの際に返還します。
- 4 第2項の申込金を同項の規定により当館が指定した日までにお支払いいただけない場合は、宿泊契約はその効力を失うものとし、ただし、申込金の支払期日を指定するにあたり、当館がその旨を宿泊客に告知した場合に限ります。

(申込金の支払いを要しないこととする特約)

- 第4条 前条第2項の規定にかかわらず、当館は、契約の成立後同項の申込金の支払いを要しないこととする特約に応じることがあります。
- 2 宿泊契約の申し込みを承諾するに当たり、当館が前条第2項の申込金の支払いを求めなかった場合及び当該申込金の支払期日を指定しなかった場合は、前項の特約に応じたものとして取り扱います。

(宿泊契約締結の拒否)

- 第5条 当館は、次に掲げる場合において、宿泊契約の締結に応じないことがあります。
- (1) 宿泊の申込みが、この約款によらないとき
 - (2) 満室（員）により客室の余裕がないとき
 - (3) 宿泊しようとする者が、宿泊に関し、法令の規定、公の秩序もしくは善良の風俗に反する行為をするおそれがあると認められるとき
 - (4) 宿泊しようとする者が、伝染病者であると明らかに認められるとき
 - (5) 宿泊に関し合理的な範囲を超える負担を求められたとき
 - (6) 天災、施設の故障、その他やむを得ない事由により宿泊させることができないとき
 - (7) 京都府旅行業法施行条例第4条の規定する場合に該当するとき

(宿泊客の契約解除権)

- 第6条 宿泊客は、当館に申し出て、宿泊契約を解除することができます。
- 2 当館は、宿泊客がその責めに帰すべき事由により宿泊契約の全部又は一部を解除した場合（第3条第2項の規定により当館が申込金の支払期日を指定してその支払いを求めた場合であって、その支払いより前に宿泊客が宿泊契約を解除したときを除きます。）は別表第2に掲げるところにより、違約金を申し受けます。ただし、当館が第4条第1項の特約に応じた場合にあつては、その特約に応じるに当たって、宿泊客が宿泊契約を解除したときの違約金支払義務について、当館が宿泊客に告知したときに限ります。
- 3 当館は、宿泊客が連絡をしないで宿泊日当日の午後7時（あらかじめ到着予定時刻が明示されている場合は、その時刻を2時間経過した時刻）になっても到着しないときは、その宿泊契約は宿泊客により解除されたものとみなし処理することがあります。

宿泊約款

(当館の契約解除権)

第7条 当館は、次に掲げる場合においては、宿泊契約を解除することがあります。

- (1) 宿泊客が宿泊に関し、法令の規定、公の秩序もしくは善良の風俗に反する行為をするおそれがあると認められるとき、又は同行為をしたと認められるとき
 - (2) 宿泊客が伝染病者であると明らかに認められるとき
 - (3) 宿泊に関し合理的な範囲を超える負担を求められたとき
 - (4) 天災等不可抗力に起因する事由により宿泊させることができないとき
 - (5) 京都府旅行業法施行条例第4条の規定する場合に該当するとき
 - (6) 寝室での寝たばこ、消防用設備等に対するいたずら、その他当館が定める利用規則の禁止事項(火災予防上必要なものに限る。)に従わないとき
- 2 当館が前項の規定に基づいて宿泊契約を解除したときは、宿泊客がまだ提供を受けていない宿泊サービス等の料金はいただきません。

(宿泊の登録)

第8条 宿泊客は、宿泊日当日、当館のフロントにおいて、次の事項を登録していただきます。

- (1) 宿泊客の氏名、年齢、性別、住所及び職業
 - (2) 外国人にあつては、国籍、旅券番号、入国地及び入国年月日
 - (3) 出発日及び出発予定時刻
 - (4) その他当館が必要と認める事項
- 2 宿泊客が第12条の料金の支払いを、旅行小切手、宿泊券、クレジットカード等通貨に代わり得る方法により行おうとするときは、あらかじめ、前項の登録時にそれらを呈示していただきます。

(客室の使用時間)

第9条 宿泊客が当館の客室を使用できる時間は、午後3時から翌朝10時までとします。ただし、連続して宿泊する場合においては、到着日及び出発日を除き、終日使用することができます。

- 2 当館は、前項の規定にかかわらず、同項に定める時間外の客室の使用に応じることがあります。この場合には次に掲げる追加料金を申し受けます。
- (1) 超過3時間までは、室料相当額の30% (室料金の3分の1)
 - (2) 超過6時間までは、室料相当額の60% (室料金の2分の1)
 - (3) 超過6時間以上は、室料相当額の100% (室料金の全額)
- 3 前項の室料相当額は、基本宿泊料の70%とします。

(利用規則の遵守)

第10条 宿泊客は、当館内においては、当館が定めて館内に掲示した利用規則に従っていただきます。

(営業時間)

第11条 当館の主な施設等の営業時間は次のとおりとし、その他の施設等の詳しい営業時間は備え付けパンフレット、各所の掲示、客室内のサービスディレクトリー等で御案内いたします。

- (1) フロント・キャッシャー等サービス時間：
イ：門限 24時
ロ：フロントサービス 午前7時～午後9時
- (2) 飲食等(施設)サービス時間：
イ：朝食 午前7時30分～午前9時
ロ：昼食 午前11時30分～午後2時
ハ：夕食 午後5時30分～午後8時
- (3) 付帯サービス施設時間：
イ：喫茶ラウンジ 午前8時～午後5時
ロ：売店 午前8時～午後7時
ハ：カラオケルーム 午後5時～午後10時

2 前項の時間は、必要やむを得ない場合には臨時に変更することがあります。その場合には、適当な方法をもってお知らせします。

(料金の支払い)

第12条 宿泊客が支払うべき宿泊料金等の内訳は、別表第1に掲げるところによります。

- 2 前項の宿泊料金等の支払いは、通貨又は当館が認めた旅行小切手、宿泊券、クレジットカード等これに代わり得る方法により、宿泊客の出発の際又は当館が請求した時、フロントにおいて行っていただきます。
- 3 当館が宿泊客に客室を提供し、使用が可能になったのち、宿泊客が任意に宿泊しなかった場合においても、宿泊料金は申し受けます。

(当館の責任)

第13条 当館は、宿泊契約及びこれに関連する契約の履行に当たり、又はそれらの不履行により宿泊客に損害を与えたときは、その損害を賠償します。ただし、それが当館の責めに帰すべき事由によるものでないときは、この限りではありません。

2 当館は、消防機関から適マークを受領しておりますが、万一の火災等に対処するため、旅館賠償責任保険に加入しております。

宿泊約款

(契約した客室の提供ができないときの取扱い)

第14条 当館は、宿泊客に契約した客室を提供できないときは、宿泊客の了解を得て、できる限り同一の条件による他の宿泊施設をあっ旋するものとします。

2 当館は、前項の規定にかかわらず他の宿泊施設のあっ旋ができないときは、違約金相当額の補償料を宿泊客に支払い、その補償料は損害賠償額に充当します。ただし、客室が提供できないことについて、当館の責めに帰すべき事由がないときは、補償料を支払いません。

(寄託物等の取扱い)

第15条 宿泊客がフロントにお預けになった物品又は現金並びに貴重品について、滅失、毀損等の損害が生じたときは、それが、不可抗力である場合を除き、当館は、その損害を賠償します。ただし、現金及び貴重品については、当館がその種類及び価額の明告を求めた場合であって、宿泊客がそれを行わなかったときは、当館は15万円を限度としてその損害を賠償します。

2 宿泊客が、当館内にお持込みになった物品又は現金並びに貴重品であってフロントにお預けにならなかったものについて、当館の故意又は過失により滅失、毀損等の損害が生じたときは、当館は、その損害を賠償します。ただし、宿泊客からあらかじめ種類及び価額の明告のなかったものについては、当館に故意又は重大な過失がある場合を除き、5万円を限度として当館はその損害を賠償します。

(宿泊客の手荷物又は携帯品の保障)

第16条 宿泊客の手荷物が、宿泊に先立って当館に到着した場合は、その到着前に当館が了解したときに限って責任をもって保管し、宿泊客がフロントにおいてチェックインする際お渡しします。

2 宿泊客がチェックアウトしたのち、宿泊客の手荷物又は携帯品が当館に置き忘れられていた場合において、その所有者が判明したときは、当館は、当該所有者に連絡をするとともにその指示を求めるものとします。ただし、所有者の指示がない場合又は所有者が判明しないときは、発見日を含め30日間保管し、その後最寄りの警察署に届けます。

3 前2項の場合における宿泊客の手荷物又は携帯品の保管についての当館の責任は、第1項の場合にあっては前条第1項の規定に、前項の場合にあっては同条第2項の規定に準じるものとします。

(駐車場の責任)

第17条 宿泊客が当館の駐車場をご利用になる場合、車両のキーの寄託の如何にかかわらず、当館は場所をお貸しするものであって、車両の管理責任まで負うものではありません。ただし、駐車場の管理に当たり、当館の故意又は過失によって損害を与えたときは、その賠償の責めに任じます。

(宿泊客の責任)

第18条 宿泊客の故意又は過失により当館が損害を被ったときは、当該宿泊客は当館に対し、その損害を賠償していただきます。

別表第1 宿泊料金等の内訳(第2条第1項、及び第12条第1項関係)

	宿泊客が支払うべき総額		
	宿泊料金	追加料金	税金
内訳	●基本宿泊料 (室料+朝・夕食料)	●追加飲食 (朝・夕食以外の飲食料)及び その他の利用料金	(イ)消費税 (ロ)入湯税

備考

- 基本料金はフロントに掲示する料金表によります。
- 子供料金は小学生以下に適用し、大人に準じる食事と寝具等を提供したときは大人料金の70%、子供用食事と寝具を提供したときは50%、寝具のみを提供したときは30%をいただきます。
- 寝具及び食事を提供しない幼児については、3000円をいただきます。

別表第2 違約金(第6条第2項関係)

契約申込人数	14名まで	15名~30名まで	31名~100名まで
契約解除の通知をうけた日			
不泊	100%	100%	100%
当日	100%	100%	100%
前日	50%	50%	80%
2日前	30%	30%	50%
3日前	30%	30%	30%
5日前		30%	30%
6日前			20%
7日前			20%
8日前			10%
14日前			10%

(注)

- %は基本室料に対する違約金の比率です。
- 契約日数が短縮した場合はその短縮日数に関わりなく1日分(初日)の違約金を収受します。
- 団体客(15名以上)の一部について契約の解除があった場合、宿泊の10日前(その日より後に申し込みをお引き受けした場合にはそのお引き受けした日)における宿泊人数の10%(端数が出た場合には切り上げる。)にあたる人数については、違約金はいただきません。



心づくし 味づくし

あおい 橋風苑